

あべともこニュース

PFAAS汚染、環境調査の徹底と血液検査を！

◆デジタル相、保険証廃止姿勢変えず
「マイナトラブル」が止まらない中、26日に参議院特別委員会の閉会審査が開かれました。焦点となったのは来年秋に保険証を廃止してマイナ保険証に一本化する期限について。

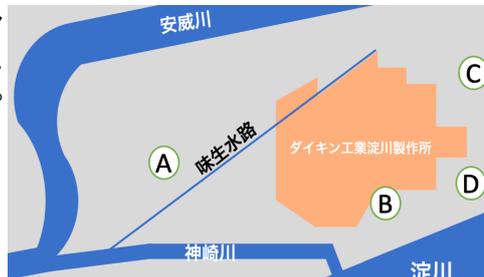
河野太郎デジタル大臣は、発行済み保険証は最大一年(再来年の秋まで)の経過措置として使用できるので、予定通り保険証を廃止すると言います。しかし、保険証の切り替え時期によってはずぐ使えなくなる場合もあります。一方、各自治体では次々と保険証存続の意見書が上がっており、国民は明らかに存続を求めています。

いま、個人情報保護委員会はマイナンバー法に基づいてデジタル庁に立ち入り検査の真っ最中です。その結果も待たず、医療機関や患者さんの混乱、不安を無視する河野大臣はあまりに不誠実。個人情報委を所管する担当大臣はデジタル庁トップの河野氏が兼務で、公正公平さにも疑問あり。個人情報保護は、あまりにも軽んじられています。

◆PFAAS汚染を追って！大阪摂津市
19日、有機フッ素化合物(PFAS)汚染の対策について、大阪府及び摂津市へ視察に行きました。

大阪摂津市では、2003年に河川、08年に大気からPFASの一部であるPFOAが高濃度検出。令和4年には、国の暫定目標値50ng/lの420倍、21万ng/lが地下水から検出。少なくとも1950年代から水が染み渡るには時間がかかり、今になって汚染が明らかになったと言えます。

“企業”の責任はもちろん、国と自治体が連携して環境と健康調査・被害への対策が望まれます。



図：B地点で高濃度検出。Tansa、「大阪・摂津市で日本一のPFOA水質汚染原因はダイキンの工場」2023/6/14

◆広がるPFAS汚染！神奈川県でも
昨年6月、米軍横須賀基地内排水処理施設からPFASを含む排水が流出。9月には、厚木基地内爆薬等を保管した格納庫で大雨により泡消火剤が意図せず作動、近隣の川に流出しました。

横須賀では、昨夏の米軍調査で生活排水の排水口から1ℓあたり8592ng(PFOS・PFOAの合算値)。産業排水の排水口からは同5450ngが検出され、国の目標値の109倍…。各基地内では、PFASを含まない代替剤へと移行しているとのことですが、海への排出は海洋汚染につながります。

厚木では、川から池に成分が滞留し、土壌汚染へつながることも問題視されました。米軍は、再発防止と成分除去の活性炭フィルターで対策にあたると思いますが、実際はどうか…。

基地内調査は、「地位協定」により容易ではありませんが、環境を守るためにも、汚染源の特定と監視が必須です。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町)当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式Twitter
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集

採水地点	河川名・種別	PFOA(ng/l)
1 大阪府摂津市	地下水	1812.0
2 東京都調布市	地下水	403.0
3 沖縄県沖縄市元川橋	川崎川(天願川)	215.0
4 沖縄県宜野湾市チユナガー	湧水	193.0
5 兵庫県神戸市玉津大橋	明石川	142.2
6 大分県大分市別保橋	乙津川	142.0
7 東京都大田区	地下水	131.6
8 千葉県市原市雷橋	平蔵川	127.0
9 兵庫県神戸市上水源取水口	明石川	102.6
10 三重県四日市市海蔵橋	海蔵川	101.0

出典：Tansa、「大阪・摂津市で日本一のPFOA水質汚染 原因はダイキンの工場」2023/6/14